

平成28年11月18日

監 査 報 告 書

箕面市地域公共交通活性化協議会
会 長 伊 藤 哲 夫 様

箕面市地域公共交通活性化協議会

監 事 清 田 栄 紀

監 事 松 出 末 生

平成28年11月18日、箕面市役所別館3階第4会議室において、平成27年度箕面市地域公共交通活性化協議会の収支決算書及び関係書類等を監査したところ、監査に付された決算、書類等は正確でありましたので報告します。

なお、監査の結果、下記のとおり監査意見を総括いたします。

記

〈現状分析〉・・・別添円グラフ参照

1. 事業の支出内訳としては、バスの運行経費が約85.8%をしめており、年間経費としては約111百万円かかっている。
2. 休日実証運行経費にしめる料金収入の割合は約25.2%で、残りの国+市の負担は、約75%となっている。
3. 平日本格運行経費にしめる料金収入の割合は約48.9%で、残りの負担は、介護保険による補填が約22.7%で、市の負担は約28.4%となっている。

〈意 見〉

1. オレンジゆずるバスは、高齢者に対して割引運賃を適用しており、本格運行経費のうち介護保険による補填が約22.7%であるが、将来的に介護保険による補填がなくなる可能性がある。そのため、本格運行経費にかかる料金収入割合を50%以上となるよう引き続き、経費の圧縮と利用促進による運賃収入の増加をはかる必要がある。
2. 休日の実証運行については、利用者数が伸び悩み、料金収入割合が約25.2%となっており、運行廃止も検討されたが、より便利で収支率を向上させるため、便数やルート等運行の見直しを実施し、平成28年7月17日より本格運行している。継続的な運行には利用者数増加が必須のため、利用促進策を講じる必要がある。
3. 利用促進については、これまで取り組んできた認知度の向上と併せて、利用者数の増加につながる方策を講じる必要がある。

以上